

2016 年度卒業研究第一回中間発表会の開催について

4 回生担任 金谷

1. 発表会

- ・日時： 2016 年 5 月 25 日（水）10:40～18:00
2016 年 5 月 26 日（木）10:40～18:00
- ・場所： 両日とも交流センター研修室 1・2・3
- ・発表時間：発表は、一人 5 分間、質疑応答と助言をその後の 5 分間とし、一人あたり計 10 分とする。発表時間を厳守すること。
- ・発表の内容：発表要旨と同様の内容を簡潔に発表すること。

2. 発表要旨

指導教員より発表を許可された者は、2016 年 5 月 23 日（月）13:00～15:00（厳守）に、指導教員が押印した「卒業研究第一回中間発表 許可書」とともに発表要旨を B2-209 室に提出する（代理提出は、原則、認めない）。分量は A4 横書き 2 枚（片面モノクロ印刷）とし、学科 HP に掲載している「要旨記載例.doc」をダウンロードして作成すること。なお先輩の要旨は、書式が違っている場合がある。そのため必ず「要旨記載例.doc」をダウンロードして、書式説明の吹き出しやフォント指定・書式指定を熟読後に削除し、各自の要旨内容を上書きして作成のこと。

<要旨全体の注意>

- *英数字は半角とする（後出の大項目の項目番号のみ全角）。
- *句読点は、「.」と「,」（全角）を用いる。
- *提出前に必ずモノクロ（白黒）で印刷し、判読できない箇所（図表含む）がないことを確認すること（カラーなら判読できるが、モノクロ印刷では判読できない場合があるので）。
- *ページ番号は、着手・中間 I・中間 II には不要（審査会印刷用の要旨、審査版の卒論本編の要旨には必要；i～iv）。
- *1 行目の中央に、タイトル（MS ゴシック+Arial, 12 pt）、サブタイトル（MS ゴシック+Arial, 11 pt）
- *2 行目の右端に 研究室名・学籍番号・氏名（MS 明朝, 10 pt）を記載。
- *1 行あける。
- *以下、次の大項目の順番に記載
 1. 背景・論点
 2. 研究の目的・意義
 3. 研究方法
 4. 着手発表以降の進捗状況
 5. 今後の予定
 6. 参考文献
- *大項目は 10 pt の MS ゴシック+Arial、項目番号は全角にして、直前を 1 行あける。
- *中項目が必要な場合は、(1), (2), (3)などとし、さらに小項目が必要ななら、1), 2), 3)などとする。ともに 10 pt の MS ゴシック+Arial にする。
- *図表は次のように記載する。
 - ・前後を 1 行あける（本文との区別を明確にするため）
 - ・キャプション（図表タイトル）は、表は上につけ、図は下につける。
 - ・キャプションの図表番号は、図 1, 図 2, 表 1, 表 2 と、9 pt の MS ゴシック+Arial にする。
 - ・キャプションの本文は、9 pt の MS 明朝+Times New Roman にし、本文と切り離してもそれだけで意味が通じるようなものにする。
 - ・本文中の図表は原則としてページをまたがらないこと。止むを得ずページをまたがる場合は、分割して、それぞれのページの図表にキャプションと項目名を付けること。
 - ・図表の大きさは、2 段組か 1 段組のどちらかとする（1 段組にした場合に、余白に本文を記載しない）。
- *参考文献の引用について

本文中の参考または引用箇所の右上に、右上付きのカッコ付き数字で、参考文献番号を記載すること（例 1）。節や項などでまとめて引用する場合にはタイトルの右上に（例 2）、段落でまとめて引用

する場合は段落最終行の句点の右上に（例 3），参考文献番号を記載することができる。

例 1： 文献の引用を記した様式^{1),2),3)}についてはいろいろなものが……

例 2： 1-1 研究の背景^{1),2)}

例 3： …についての説明は，以上のようにまとめることができる。^{4),5),6)}

引用文献リストは「6. 参考文献」に，9 pt の MS 明朝+Times New Roman で記載すること。形式は，次のようにする。

- 雑誌 引用番号 著者名：引用論文表題，掲載誌名，巻(号)，ページ (発行年)
- 例 1) 江州滋男：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36(11)，pp.225-229 (1930)
- 注意 1) 著者名の姓と名の間にはスペースを入れない。(アルファベットの場合は除く.)
- 注意 2) 年代を囲む()は半角，Times New Roman. 以下，全て同様。
- 2) T. Hidaka: Referring References, *Book Sciences*, 28(4), pp.1305-1309 (1945)
- 注意) 共著者が 2 名のときは 2 名を「,」区切りで記し，3 名以上のときは第一著者名・他，または"Author et al."と記載する (著者名に関しては以下，同様)。またページは単数ページの引用が "p.220"，複数ページの引用が "pp.220-223".
- 単行本 引用番号 著者名：書名，引用ページ，発行所 (発行年)
- 例 3) 江州滋男：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会 (1999)
- 4) T. Hidaka: *How to Use References*, pp.215-219, Academic Press (1998)
- 5) 近江太郎：引用文献の表記法に関する研究，滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 2012 年度卒業論文(2013)
- 編書論文 引用番号 著者名：引用論文表題，編者名編：書名，引用ページ，発行所 (発行年)
- 例 6) 長浜滋彦：環境問題の未来と社会変動，長浜滋彦・木本マキ編：講座社会学 12 環境，pp.191-224，東京大学出版会 (1998)
- 事典類 引用番号 書名，発行所 (発行年)
- 例 7) 平凡社百科大事典，平凡社 (1990)
- 新聞記事 引用番号 新聞社名 (支社)，日付，第何面
- 例 8) 読売新聞 (滋賀)，2001-02-07，夕刊 17 面
- 私信等 (電子メール，手紙，電話，会話などで個人的に入手した情報の場合) 引用番号 相手名，日付，種類 (私信，電話，会話など)
- 例 9) 大津次郎：1998-12-08，電子メール
- 注意) 個人のメールアドレスは掲載しないこと。
- 10) 大津次郎，1998-12-08，電話
- Web サイト 引用番号 サイト運営 (作成) 者名：ページ (記事) タイトル <URL>，情報入手日
- 例 11) 地球環境情報センター：データ<<http://www.geic.or.jp/choco2/member.html>>，2002-11-07
- 注意 1) URL には下線はつけない。ページ (記事) タイトルとは html の<title>に相当するもので，ブラウザのタブ上部に表示される。
- 注意 2) 電子ジャーナルや政府の刊行物など，Web 上にもあるが図書として出版されているものは，Web サイトとして引用するのではなく，刊行物として引用し，該当する文献の書式で掲載する。

3. 発表用電子媒体の提出

発表用のスライドファイルは，ゼミごとに USB メモリーあるいは CD など電子媒体に収録し，B1-301 室へ持参すること。提出期限は 2016 年 5 月 24 日 (火) 10:00~12:00 (厳守) とする。なお，ソフトとしては MS PowerPoint 2013 を用意する。

4. 発表順序

別途通知する (4 月 22 日頃を予定)。

就職活動等のやむを得ない理由を持つ学生は，事前に指導教員を通じて 4 回生担任まで可能な発表日と時間帯を申し出ること。